



# M.M.Honcho Newsletter

【6月号】令和5年5月31日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



## 「TEAM☺全力」 一つになった運動会

副校長 坂入 亮太

爽やかな青空の下、本年度の運動会が開催できました。ご参観いただきました皆様、ありがとうございました。

2019年冬から始まった新型コロナウイルス感染症に関わる対応から、制限なく開催するのは実に3年半ぶりです。皆様からいただきましたアンケートには、保護者入れ替えなし、人数制限なしの開催で、子どもたちの輝いている姿をご覧になったことの感激の声が多く寄せられています。当日運営等についても貴重なご意見をいただいております。次年度の改善に繋げてまいります。ありがとうございました。

また、本校PTA、教育奨励会の役員の皆様のご協力で、熱中症対策のテント設営、安全・防犯のための見回り、参観者の整理ご協力の呼びかけ等、手厚くご対応いただきました。当日のご協力いただきました保護者SPの皆様も多数いらっしゃいました。重ねて御礼申し上げます。皆様のおかげで、今年度の運動会テーマ

「TEAM☺全力」を実現し、会場を一つにまとめることができました。

本校の開校宣言の一節は、「持続可能な社会の担い手を育む」です。開校以来、子どもたちの創意工夫を生かし、教職員全員の力を結集し、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りしながら、目まぐるしく変化する社会状況に対応しつつ運動会も実施してまいりました。

今回の運動会でも、様々な場面で子どもたち自身が多様な価値観を認め合い、自分の力を発揮しようとして一生懸命

命に取り組む姿が見られました。当日の演技や競技では、のびのびと笑顔で表現したり、力いっぱい走ったりする姿や、皆が楽しめるようにルールを工夫した運動に異学年で協力しながら取り組む様子に、大きな声援が贈られていました。会場が一体となり、子どもたちもご参観いただいた皆様も、楽しそうにしている様子が印象的でした。まさに多様な立場の人々が一つになっていることを感じられた瞬間でした。

自分たちの演技だけでなく他の学年の演技を真似て踊ったり、曲を口ずさんだりしながら、準備の学習段階から楽しんでいる子どもたち。体調などの都合で見学することになり運動そのものには参加できなくても、友達を応援している姿。中には、「運動会」は苦手という子もいますが、一人ひとりの子どもが、自分の今もっている力で、それぞれの参加の仕方ですべてを盛り上げてくれていました。そのような姿から、よりよい世界を自分たちでつくっていききたい、そんな思いを感じることができました。これも全て、ご家庭で子どもたちを支えてくださった保護者の皆様、地域、関連機関の皆様のあたたかい励ましのおかげです。運動やスポーツへの関わり方も多様になり、「する」「見る」「支える」「知る」といった多面的な学習が推奨されています。子どもたちの多様な思いを大切にしながら、これからも教職員一同がんばってまいります。

本当にありがとうございました。今後ともご支援いただけますよう、お願いします。

### 《専任より》

### 社会の一員として、安全で気持ちのよい登下校を!

新年度が始まって2ヶ月が過ぎました。毎朝、子どもたちの「おはようございます。」の元気いっぱいの声にかづけられる日々です。毎日の見守り、本当にありがとうございます。学校や登下校の場は、多くの人が使う「公共の場」です。自分も周りの人も気持ちよく生活するため、大切な命を守るため、学校では今後も引き続き、次のことを指導していきます。ぜひ、ご家庭でも話題にし、お子様と確認して下さるようお願いいたします。

- 交差点を渡るときは、必ず青信号で渡る。点滅し始めたら渡らない。
- 歩道はフェンス側（歩道から遠い側）を1～2列で歩く。広がって歩かない。
- 通学路を必ず守り、途中で寄り道しない。

児童支援専任 赤津 淳子

